

鍋林建工株式会社

# 環境活動レポート

(活動期間:2017年4月1日～2018年3月31日)

2017年度



2018年6月11日  
鍋林建工株式会社  
代表取締役社長 小林力由

## 目次

	項目		ページ
1	事業の概要 (1) 事業者名及び代表者名 (2) 所在地 (3) 環境責任者氏名及び担当者連絡先 (4) 事業内容 (5) 事業規模 (6) 実施体制	.....	1
2	基本方針	.....	2
	アクセス	.....	3
3	主な環境負荷の実績	.....	4
4	今後の環境目標	.....	5
5	主要な環境計画と内容	.....	6
6	環境活動の取組結果と評価 (1) 取組結果と評価 (2) 環境管理責任者の評価 (3) 代表者の評価	..... ..... .....	7 8 8
7	環境関連法規制と遵守状況	.....	8

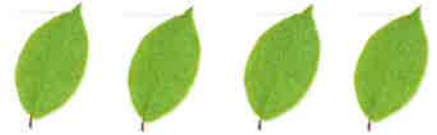
1. 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

鍋林建工株式会社

代表取締役社長 小林 力由

設立 昭和53年4月5日



(2) 所在地

(本社、松本営業所)

〒390-0851 長野県松本市大字島内3501-1

(新潟営業所)

〒950-0923 新潟県中央区姥ヶ山2-19-12

(長野営業所)

〒380-0913 長野県長野市川合新田字村西956-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:総務部長 百瀬 登

長野営業所所長: 鈴木 雄一

事務局 :管理部部长 島 康典

新潟営業所所長: 渡邊 和人

本社・松本営業所連絡先 電話:0263-48-3501 ファックス:0263-48-3502

長野営業所連絡先 電話:026-221-0232 ファックス:026-221-5045

新潟営業所連絡先 電話:025-286-1841 ファックス:025-286-1842

(4) 事業内容

建設業 (一般住宅設計施工、公共工事、防水工事、左官工事、鋼構造物工事、塗装工事、とび・土工工事、解体工事)

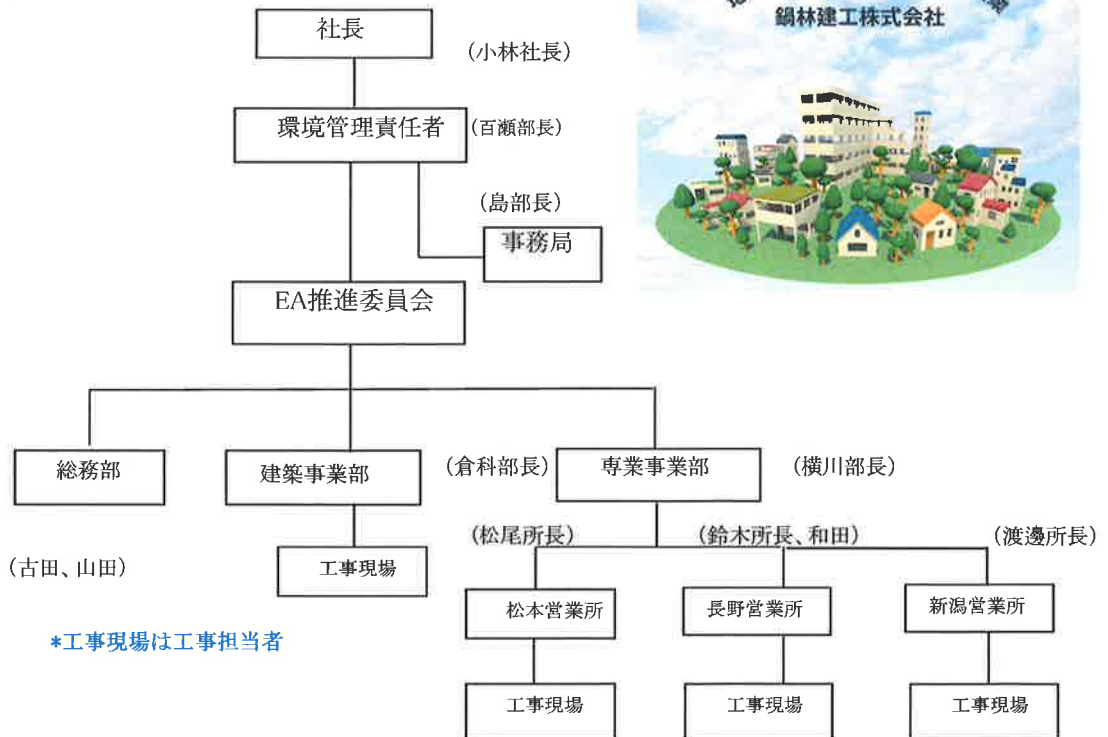
(5) 事業の規模

資本金 2,000万円

従業員 27名

延べ床面積 1,776 m<sup>2</sup> (本社:事務所725m<sup>2</sup> 倉庫297m<sup>2</sup> 長野:事務所111m<sup>2</sup> 倉庫223m<sup>2</sup> 新潟:事務所88.8m<sup>2</sup> 倉庫120.6m<sup>2</sup>)

(6) 実施体制図



## 2. 環境方針

# 環境方針

鍋林建工株式会社は事業活動及び製品・サービスを通じて、地域環境の保全、自然との調和と共生を実現する為に、下記の通り事業活動における環境負荷低減を常に意識し、継続的維持可能な循環型社会に組織が自主的かつ積極的に取り組みます。

### 行動指針

1. 環境マネジメントを理解し、PDCA サイクルにより継続的改善をしていく。
2. 環境関連法規を遵守する。
3. 環境負荷軽減をしていく。

①二酸化炭素排出量の削減

②化学物質の低減とグリーン調達の推進

③廃棄物と水資源使用の削減とリサイクル活用の推進

④省エネでエコな建築工法の推進

環境方針と行動指針を全社員に周知し、実施する。我々のこの取り組みが関係会社、地域の方々へ波及していくことを願っている。

平成 25 年 12 月 1 日

鍋林建工株式会社

代表取締役社長 小林 カ由

本社アクセスマップ

本社【建築事業部・専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒390-0851  
長野県松本市大字島内3501-1
- ▶ TEL： 0263-48-3501 (代)
- ▶ FAX： 0263-48-3502

長野営業所アクセスマップ

長野営業所【建築事業部・専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒380-0913  
長野県長野市川合新田字村西956-1
- ▶ TEL： 026-221-0232
- ▶ FAX： 026-221-5045

新潟営業所アクセスマップ

新潟営業所【専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒950-0923  
新潟県新潟市地ヶ山2-19-12
- ▶ TEL： 025-286-1841
- ▶ FAX： 025-286-1842

### 3. 主な環境負荷の実績

項目		単位	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績
二酸化炭素排出量(事・現)		kg-CO2/年	115,839	129,242	148,910
	電力(事業所)	kwh/年	37,293	34,420	38,965
	ガソリン(事務所)	ℓ/年	33,361	34,841	42,342
	灯油(事業所)	ℓ/年	2,844	3,758	5,049
廃棄物排出量(事・現)		トン/年	91.3	89.1	94.0
	一般廃棄物	トン/年	0.129	0.152	0.151
	産業廃棄物	トン/年	91.2	88.9	93.8
総排水量(事業所)		m <sup>3</sup> /年	301	251	318
省エネ住宅の受注(現場)		件数/年	1	0	0
OA紙使用量(事務所)		枚数/年	181,665	221,500	221,300
グリーン購入 ケミクリート EP、AU (事業所)		SET/年	35	37	29
地域活動(事業所)		周辺清掃回数/年	8	12	14

注:事業年度=4月~3月

電力の二酸化炭素排出  
係数:0.516 kg-CO2/kwh  
中部電力:2012年係数使用

注:(事・現)とは事務所と現場の合計数字  
2017年実績は新潟営業所の数字がプラスされて  
います。

#### 4.今後の環境目標

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
		(新基準年)	年度目標 <small>(新基準年から1%削減)</small>	年度目標 <small>(新基準年から2%削減)</small>	年度目標 <small>(新基準年から2.5%削減)</small>	
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	148,909	147,420	145,931	145,186	
電力	kwh/年	38,965	38,575	38,186	37,991	
	ガソリン	ℓ/年	42,342	41,919	41,495	41,283
	灯油	ℓ/年	5,049	4,999	4,948	4,923
産業廃棄物	トン/年	94	93	92	92	
総排水量	m <sup>3</sup> /年	318	315	312	310	
省エネ住宅	件数/年	0	1	2	3	
*OA紙使用量	枚数/年	221,300	219,087	216,874	215,768	
グリーン販売(水溶性塗料) ケコートEP、AU(水溶性)	購入数 (セット)/年	29	30	31	32	
地域活動	周辺清掃 回数/年	14	15	16	17	

\*注: 上記も目標値は2017年実績として削減する。但し、省エネ住宅、グリーン販売、地域活動は増加とする。

## 5. 主要な環境活動計画の内容

取組項目		活動計画の内容	評価	次年度への取組
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	・エアコンの温度設定 (事務所:冷房 28℃、暖房 20℃、現場事務所:冷房 26℃、暖房 20℃)	○	こまめな温度管理
		・コピー機等の効率化使用、PC電源OFF	○	社員への意識づけ強化
		・昼休みの60分間消灯	○	励行されてきた継続
		・未使用換気扇電源OFF	○	徹底されてきた継続
	ガソリン使用量削減	・アイドリングストップ(エコドライブ10の実施)	○	社員への意識づけ強化
		・積載オーバー、不要な荷物は積まない	○	〃
		・月報距離、給油量を記録する	○	励行されている継続
	灯油使用量削減	・暖房温度管理 20℃	△	エアコンとの効率的併用
		・時間外事務所使用の短縮	△	時間外使用を抑える
廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進	○	分別強化、特に塗料の廃棄時の扱い徹底強化
		・関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼	○	担当者が関連作業員へ指導強化
		・分別徹底とリサイクル(特に古紙、缶ビン)	○	再生紙排出量を増やす
	一般廃棄物排出量削減	・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導	△	分別強化
		・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減 ・社内文書の電子化	△ △	社員への意識づけ強化 励行されてきたが強化
総排水量削減		・水道水の出し過ぎない、止水確認 ・洗い物はまとめて洗う	○ ○	社員の意識づけ強化 〃
グリーン商品の購入推進		・グリーン商品を優先して使用する ・従業員に周知する	○ ○	継続して増やす 〃
OA紙使用量削減		・コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底 ・会議のPJ利用、電子媒体の利用	× △	社員の意識づけ強化 〃
省エネ住宅の受注		・エアパス工法の推進と後方活動 ・グループ会社の会報を通じてPRする	△ △	営業力の強化 会報の利用を強化
地域活動		・鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃	○	活動回数を更に増やす



## 6. 環境活動の取組結果と評価

### (1)取組結果と評価

取組項目	2017年度目標	現在までの取組結果 (2017年4月～2018年3月)			達成率	評価
		目標/実績				
二酸化炭素排出量削減 (kg-Co2/年)	2014年度比2%削減 (本社・長野)、 2016年度比1%削減 (新潟)	目標/実績	130,485	148,909	85.9%	未達成
電力使用量削減 (kwh/年)	2014年度比2%削減 (本社・長野)、 2016年度比1%削減 (新潟)	目標/実績	42,477	38,965	108.3%	目標達成
ガソリン使用量削減 (ℓ/年)	2014年度比2%削減 (本社・長野)、 2016年度比1%削減 (新潟)	目標/実績	40,536	42,342	95.5%	未達成
灯油使用量削減 (ℓ/年)	2014年度比2%削減 (本社・長野)、 2016年度比1%削減 (新潟)	目標/実績	3,852	5,049	68.9%	未達成
廃棄物排出量						
一般廃棄物 (トン/年)	2014年度比2%削減 (本社・長野)、 2016年度比1%削減 (新潟)	目標/実績	0.127	0.151	81.1%	未達成
産業廃棄物 (トン/年)	2014年度比2%削減 (本社・長野)、 2016年度比1%削減 (新潟)	目標/実績	104.89	93.80	110.6%	目標達成
総排水量 (m3/年)	2014年度比2%削減 (本社・長野)、 2016年度比1%削減 (新潟)	目標/実績	416	318	123.5%	目標達成
OA紙使用量削減 (枚数/年)	2014年度比2%削減 (本社・長野)、 2016年度比1%削減 (新潟)	目標/実績	191,215	221,300	84.3%	未達成
省エネ住宅の受注(エアパス) (件数/年)	1件/年	目標/実績	3	0	0.0%	未達成
グリーン購入(水性塗料) ケミクリーンEP、AU(水溶性) 購入セット(セット数/年)	2014年度比2%増 (本社・長野)、 2016年度比1%増 (新潟)	目標/実績	13	29	223.1%	目標達成
地域活動						
事業所周辺の定期清掃 (回数/年)	7回実施 1回多く実施する	目標/実績	13.0	14	107.7%	目標達成

## (2)環境管理者の評価

昨年の中間審査において新潟営業所が審査対象となり、2017度全社にて活動が行われた。灯油、OA用紙の実績が大きく目標を下回ってしまった。2018年はこれを踏まえて対策をたてていきたい。また、基準年を2017年とする。

2018年6月11日

百瀬 登

## (3)代表者の評価

EA21の方針である法令遵守、環境負荷軽減を推し進め、スパイラルアップしていく為の手法を、EA21のプログラムから学んでいく。  
EA21の活動が地域貢献、会社経営にプラスになるような活動を継続していく。

2017年度で漸く全社の事業所にてEA21の活動が出来るようになり、嬉しい。今後は更に活動が活発に行ってEA21の目標を体現して欲しい。

2018年6月11日

小林 力由

## 7. 環境関連法規制の遵守状況

### (1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守
資源有効利用促進法	分別排出、再生資源化に協力	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵と取扱、届出	遵守
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路運送車両法	車両の日常点検、整備記録簿	遵守
道路法	継続して道路を使用する対象物件の許可申請	遵守
労働安全衛生法	安全衛生計画を作成、実施する	遵守
毒物及ぶ劇物取扱法	少量劇物の貯蔵と取扱	遵守
フロン排出抑制法	フロン漏えい点検	遵守

### (2)違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

